

あさひまち

広 報

2003 年 1 月号

No. 554

謹 賀 新 年／町長、議長年頭のあいさつ

町政スポット／12月定例議会報告、ファミリー・サポート・サービス開始 ほか

新春特別企画／愛する人へおくる一通の手紙

ま ち の 話 題／送橋区おっきなお茶飲み会、あじぴかワイン新発売 ほか



あけましておめでとう

(いもむわ少年教室 門松づくり 12/22)

あいさつ

新年

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、みなさまのご清福とご繁栄を心より喜び申し上げます。日頃より町政全般へお寄せいただいておりますお力添えに対し、心から感謝と御礼を申し上げます。昨年は、少子高齢化に伴う地域の活力問題、経済不況による雇用問題、構造改革に伴う地方分権と合併論議、そして町のりんご産業に大きな影響を与えた無登録農薬問題など、国、県、町を問わず近年にない激動の年であったと思います。

新年を迎え、まだ不透明さと出口が見えない状況が続く、朝日町を取り巻く多くの課題が山積しております。これらを直視し、みなさまが健康で楽しく、そして夢を持ち、生きがいのある生活が送れるよう明るい未来を信



じ「夢そだてる元気なまちづくり」に向け決意を新たにしているところであります。

産業振興策の推進、行財政改革の推進による効率的な行政運営、各種建設・整備事業など、これからも英知を結集しながら、一歩一歩着実に進めてまいります。特に地方分権の施行に伴い、自治体は自己決定と自己責任の時代へと移り、今こそ自治体の力量が問われる時代であります。定住対策と交流人口の増大を含めた町づくりを進めながら、夢かなえる町、住んでよかったと言われるまちづくりのため全力を傾注してまいりますので、一層のご理解とご支援をお願いいたします。

胸ふくらませて迎えた新年が、みなさまと町にとって最良の年になりますよう、ご祈念申し上げます。

夢そだてる元気な まちづくりめざして

朝日町長 清 野 隆

年頭の

謹 賀

新年あけましておめでとうございます。

みなさまには、健康で希望に満ちた初春を迎えられましたこととお喜び申し上げます。

日頃から議会に対する温かいご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、無登録農薬問題で果樹生産者にとりましては大きな打撃を受け、大変厳しい年でした。また、秋の天候不順もこれまでに経験したことのない年でした。商工業面におきましても、長引く不況とデフレ経済による影響で大変厳しい状況が続いており、国もその対応に迫られています。

新世紀の今日、国の内外とも大きな変革の時期に遭遇しております。地方行政におきましても、少子高齢化、過疎化、さらに情報化の進展、市町村合併など避けて通れない事態

に直面し、先が見えない不安な時代に入っています。地方分権が実施されて四年目に入り、町の独自性、手腕が問われる時期にきております。

第四次朝日町総合発展計画を基本に町民の心を大切に、地域の均衡ある発展を図るため、厳しい時こそ英知を結集し、苦労を共にしながら大きな変革の流れの中で勇気を持って前進しなければならぬと思います。

議会といたしましては、決意を新たに、議会の活性化と町民の夢をかなえる、より豊かで住みよい町づくりに創意と工夫を重ね全力を尽くす所存でありますので、本年も変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

町民のみなさまのご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。新年のあいさついたします。



町民の心を大切に 決断と実行

朝日町議会議長 川 口 幸次郎

議会

十二月定例町議会が十二月十一日から十三日まで開催されました。

総額千二百万円を減額する一般会計補正予算、送橋小学校・上郷小学校閉校にともなう町立小中学校の設置及び管理に関する条例の一部改正など七議案が審議され、すべて原案どおり可決されました。

町政報告

▼総務課

平成十五年度新規採用職員第二次選考試験を十月二十四日に実施し、一般事務職員一人、一般技術職員一人、看護師三人の採用を内定しました。

庁舎等大規模改修工事は十月十九日に作業を終えました。

▼企画課

市町村合併問題について、西村山広域行政圏市町合併調査研究委員会の調査研究報告書が十一月五日に提出されました。十



議会傍聴に訪れた西五百川小6年生のみなさん

二月二日の西村山広域理事会で協議した結果、一市四町において情報交換をしながら、論議を深めていくことになりました。

場外車券場は、今後、設置予定者において調査設計と法手続きを進めることになっています。

コミュニティ助成事業は、西郷振興協議会から申請があった熊ノ山公園の管理用芝刈り機械などの購入が決定になりました。

町内独身男性と山形県内女性とのあつぷるカップル事業を十一月九日・十日の両日、朝日自然観を会場に開催しました。

都市との交流事業の一環とし

て「りんご交流事業」を十一月二十七日に実施しました。センタリーんご組合の葉取らずりんご生産者より提供いただいた「ハレフジ」十五ケースを東京都杉並区立查掛小学校と桃井第五小学校に贈呈するとともに、総合学習の一環として「りんごづくりの仕事」に関する特別授業を行いました。

▼税務町民課

町民税の収入は企業閉鎖や収益の低下などにより減額が見込まれます。

地籍調査は本年度実施区域の一筆調査が終了し、これで町全体の現地調査がすべて完了しました。

戸籍年金関係について、窓口業務の簡素化を図るため、現在印鑑登録のコンピュータ化を進めています。

▼健康福祉課

十二月一日現在の平成十五年度保育園入園申し込みは、さゆり保育園百七人、ふたば保育園三十五人、わかば保育園三十七人で、昨年同期より二十三人少なくなっています。

介護保険の介護認定者数は十月末日現在で三百七十三人、昨年同期と比較して七・五%の伸びとなっております、そのうち実際

にサービスを利用している人は三百七十七人、利用率にして八五%になっています。

今年度のドック受診者は千九百九十二人で、精密検査と治療の必要な方に対しては保健師が適宜指導しているところです。

▼商工観光課

木材製品利用住宅建築奨励助成制度は、十一月末現在二十件の申請があり、昨年同期と同数で推移しています。

小額融資制度の利用状況は、十一月末現在で二十四件・七千九百四十万円と昨年同期と比較し十二件の増加となっており、そのうち十八件が運転資金の利金となっています。

▼農林課

米の作況は平年並となりましたが、カメムシの被害が散見され、一等米比率は十一月末現在で八六・一%（昨年同期九二・五%）とやや低くなり、品質面で課題を残しました。

朝日町りんごのおいしさと安全・安心をキャンペーンなどで積極的にPRしてきましたが、無登録農家の風評被害などで農業収入の減収は避けられない状況にあり、農業経営に支障をきたす果樹農家に対し、県、町、農協が利子補給を行う無利子の

資金制度を創設しました。大規模林道真室川・小国線の朝日工区は本年度で工事が完了します。

▼建設課

町道大谷南線は用地取得の法手続きを行っており、手続き完了後に着工します。

国道二八七号和合バイパス工事は、明鏡橋の橋台建設と大隅、小原工区の工事を実施しています。十二月末には岩坂橋から果実選果場前までの区間が開通する予定です。

主要地方道長井大江線の新大平橋橋梁整備事業は、今平側の橋台建設にともない工事用道路を整備しています。

大谷バイパス工事は、今年三月に発生した仲丸地すべり災害により計画変更を余儀なくされ、関係者と協議を進めながら設計の見直しを行っています。

仲丸地区災害関連緊急地すべり対策事業は、現在被災用地の買収を行っており、買収終了後、猿田沢川への土砂流失防止のための堰堤工事を始める予定です。

十二月現在の合併処理浄化槽設置申し込みは八十四基です。目標の百基めざして今後さらに個別訪問などをして推進していきます。

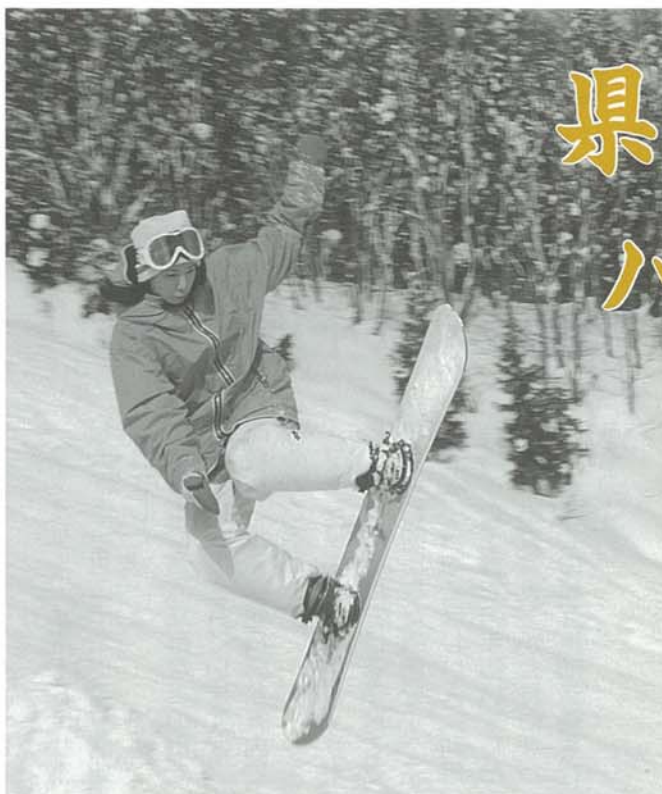
県内最大の ハーフパイプ誕生

Asahi 自然観スノーパーク

朝日自然観スノーパークのオープン式が12月20日に行われました。今年は県内最大となるスノーボード用ハーフパイプを新設。より充実した施設を整えました。

このたび完成したハーフパイプは、長さ150m・幅23m・平均斜度16度で、ファンタジーリフトの左側斜面に造成されました。総工費は約1,450万円。日本スノーボード協会公認コースとなっています。積雪が少なく、現在のところは使用不可能な状態で、本格オープン以降雪後になる予定です。1月26日(日)には、日本スノーボード協会公認の「朝日自然観ハーフパイプ大会」が予定され、県内外から約150人が参加することになっています。

一段とパワーアップした朝日自然観スノーパーク。平日割り引きバックなど、お得なサービスを用意して、みなさんのお越しをお待ちしています。



ハーフパイプ整備用の圧雪機械も購入

▼町立病院

十月末日における経営状況は、入院延べ患者数六千六百五十二人(前年比六百九十六人減)、外来延べ患者数三万二千六百三十四人(前年比二千三百三十七人増)となっています。

収支の状況は、収益四億七千六百九十七万八千円、支出五億一千七百万二千円、四千二百四十万円の不採算となっていますが、入院・外来患者数ともに少しずつ増えてきています。

▼水道事業所

石綿セメント管更新事業は、宮宿地内(第一工区)・新宿地内(第二工区)ともに十月三十一日に完成しました。宮宿地内(第二工区)については、十二月二十日の完成をめざし工事を進めています。

▼管理課

水本小学校維持組合総会が九月二十五日に開催され、平成十三年度決算などについて審議報告されました。施設維持管理体制や跡地の利活用の課題などが話し合われましたが、当面現行の規約に代わって新たに施設の維持管理規約を定め、両町が管理を行うという内容で了承されました。

上郷小学校、送橋小学校の統合覚え書き調印式が十一月二十



11月22日に行われた総合覚書調印式

二日に行われ、平成十五年四月一日の宮宿小学校との統合の確認と、各地区からの要望事項などについてそれぞれ覚え書きを交わしました。

十月十二日、仙台圏との交流によるグリーンツーリズム「親子ふれあい体験」をテーマに、宮城県七ヶ浜町より親子約四十人が来町しましたが、来年度は「海の子・山の子交流」として朝日町の子どもたちが七ヶ浜町を訪れ、浜辺での体験交流を行いたいと考えています。

▼生涯学習課

青少年健全育成町民運動の一つとして行った「あいさつ標語」募集に三百三十三点の応募がありました。あいさつによって町を明るくすることなどをテーマにしたすばらしい標語が数多く寄せられ、その中から最優秀賞一点、優秀賞五点、入選十点、佳作五点を選考し、十二月一日に表彰式を行いました。

子育て環境が さらに充実

ファミリー・サポート・サービス開始

ファミリー・サポート・サービスが十一月二十二日より開始されました。
山形市や寒河江市などの市ではすでに実施されていますが、町村レベルでは朝日町が県内で初めてです。
ファミリー・サポート・サービスは「地域における子育て支援」を目的とした事業です。子育てを手伝ってほしい人（利用会員）と子育ての手伝いをしたい人（協力会員）が会員になって、子育ての相互援助活動を行うものです。



こんな時に利用できます

- ・ 残業で、保育施設へ迎えに行けない時
- ・ 美容院や習い事、歯の治療など、自分の時間がほしい時
- ・ 兄弟を預けて、学校行事に参加したい時
- ・ 仕事で、子どもの習い事の送迎ができない時 など
- ※ 臨時的、突発的な場合に限りです。

利用料金は？

活動終了後に利用会員が協力会員に支払います。

会員随時募集中！

現在会員は三十二人。子育てのお手伝いをしたい方、ほんの

- ・ 平日午前七時～午後七時は、一時間につき五〇〇円。
- ・ 平日午前七時～午後七時以外は、一時間につき六〇〇円。
- ・ 土曜・日曜・祝祭日の午前七時～午後七時は、一時間につき六〇〇円。
- ・ 土曜・日曜・祝祭日の午前七時～午後七時以外は、一時間につき八〇〇円。
- ※ 食費、交通費などの実費については、事前の話し合いです。

申し込み・問い合わせ

朝日町子育て支援センター
（ふたば保育園内）

☎ 67-22268



太郎三
多田
光義さん
(77歳)



養蜂業の振興発展に貢献

多田さんは昭和30年代に養蜂業を始め、昭和37年に町養蜂協会を設立。平成2年には県協会長に就任し、全農山形本部などと協力して果樹農家への花粉交配用ミツバチの供給システムを確立されるなど、養蜂業界の発展と組織の充実に尽力されました。

「中山町から朝日町に移り住み約40年になりました。自然を相手に仕事ができ、さらに好きな仕事で名誉ある章をいただくことができ、大変ありがたく思っています。これからも消費者に喜ばれる商品の生産と、おいしい果実づくりのお手伝いに一生懸命励んでまいります」と多田さんは話してくれました。

勲五等瑞宝章受章 秋の叙勲



大谷三
白田
光市さん
(72歳)

農業者の地位向上に尽力

白田さんは昭和46年から平成13年までの30年間町農業委員を務められ、そのうち6期18年を会長として町の農業振興に尽力。また、平成11年からは県農業者年金協会副会長の要職に就かれ、制度改正時には農業者の代表として関係省庁に何度も陳情に出かけるなど農業者の地位向上に奔走されました。

「農業を取り巻く状況が厳しい今こそ、頑張らなければならないと思います。経営の見直しを行いながら、朝日町独自の特色ある農業を進めていくことが大事。農業委員の職は退きましたが、これからも町農業の発展のためにお役に立てればと思っています」と白田さんは語ってくれました。



橋台工事が進む新しい明鏡橋



12月26日に一部開通した和合バイパス

国道287号より安全で快適に

和合バイパス一部開通

国道二八七号和合バイパス、岩坂橋から町道釜山新線区間の工事が完了し、十二月二十六日より共用を開始しました。

新しい道路は歩道も含め16・5mの幅があり、見通しも良く、大変通行しやすい道路ですが、現在の国道と交わる農協果実流通センター前には横断歩道が設けられていますので、標識に従

い十分注意して通行してください。

和合バイパス工事は現在、新しい明鏡橋の橋台と大隅区間の工事を行っており、全線開通までにはあと数年かかる予定です。今後も国や県に働きかけを行い、早期開通に向けて努力していきます。

愛する人へおくる

一通の手紙

今年「年男年女」を迎えたみなさんが
愛する家族にささげる心温まるメッセージ



俺は親父を 尊敬しています

白田 哲也さん
(大谷二)

愛する父 忠一さんへ

「俺は親父を尊敬しています」まず、これを言っておきたいです。親父の心の広さはビックリするくらい。まるで海のように。

中学の時、悪いことをして学校に呼び出されたことがあったよな。ひどく怒られるかなと覚悟していたら「こそこそ隠れてやるな！」の一言だったよな。以来、俺は親父に頭が上がらない。今はまだかなわないけれど、いつか親父みたいになりたいとそう思っている。

親父から教えてもらったことの一つにバイクがある。親父が乗っていなかったら、俺も乗っていなかったと思う。車とは違う風を切って走る楽しさを教えてくれたのは感謝してるよ。早く二人で北海道にでもツーリングに行きたいな。

もっと言いたいことはたくさんあるけど、照れくさいから、後はゆつくり飲んだ時でも話すよ。いつまでも若く、力強い俺の親父でいてください。



孫を育てる幸せ 感じています

佐藤きよのさん
(宇津野)

愛する嫁 純子さんへ

家族になって早いもので5年が過ぎましたね。

あなたが来てくれてから、家の中がパツと明るくなりました。嫁不足と言われる中、わが家に嫁いでくれてありがとう。今はかわいい孫も生まれ、その世話ができる喜びを感じながら毎日暮らしています。それもあなたのおかげ。本当に感謝しています。

仕事と子育て、何かと忙しいけれど、体には十分気をつけてくださいね。私もできるだけ丈夫でいたいと思っていますが、やはり最後はあなたのお世話になるかと思っています。その時はどうかよろしくね。



ばばちゃん 元気で長生きしてね

清野 雅博くん
(四ノ沢)

96歳の曾祖母 たけよさんへ

ぼくが部屋で遊んでいると、時々「おがすかねが」とニコニコしながら言って、おかしをくれるばばちゃん。ぼくは、ばばちゃんが大好きです。

ばばちゃんはまだづくりの名人で、今までたくさん作って、近所の人にあげたりして喜ばれました。いつだったか、作っているところを見ていたら、出来あがったばかりのきれいなまりをぼくにくれました。すごくうれしかったです。

これからも、ぼくの知らない、いろんな話を教えてください。そして、いつまでも元気で長生きしてね。





この24年間 本当にありがとう

小野万利子さん
(常 盤)

尊敬する母 美代子さんへ

父が亡くなって23年、今年私は24歳になります。最近、私の友だちも結婚し子どもが生まれ子育てしているのを見る機会が多くなりました。その大変な現実を目の当たりにするたびに、これまでの母の苦労はどんなものだったのだろう…と考えずにはいられません。しかし、今まで私が一度も「寂しい」と感じた事がないのは、常に周りの方々が温かく見守ってくれていたから…。それは、みんなが認めてくれるほどの母の人柄とがんばりがあったからこそだと思います。

今や兄も姉も結婚し、だいぶ安心した事と思います。しかし、何せ私は「バガばっつ」。まだまだ落ち着くまで時間がかかるようなので、それまで体には十分に注意して、ハッスルしててください。そして、また二人でビール片手に笑いながらいろんなお話をしましょう!! いつでもお供します。この24年間本当にありがとう。



高橋 道子さん
(水 本)

二人でゆっくり 歩いて行きたい

愛する夫 光一さんへ

あのね お父さん、今年は私たちの年なんですって。もう48歳になるのよ。去年の7月には孫が生まれ、ついにおじいちゃんとおばあちゃんになっちゃたわね。

今までいろんな所に二人で出かけたわよね。お互いに「ひつじ年」生まれだから、遠出ひとつにしても半分は予定なし。西へ行ったり、東へ行ったりの気ままなマイカー旅行。一番遠くまで行ったのは、たしか娘のインターハイの応援に四国まで行ったことかしら。あの時も珍道中でしたわね。高校の先生には「新婚旅行ですか」とからかわれたりして、恥ずかしかったわね。

羊は群れで行動すると聞けれど、私たちは右を向くと左を向くこともしばしば。でも、これからも二人でゆっくり、ゆっくり仲良く歩いて行きましょうね。



陰で支えてくれた 家族に感謝

はじめ
白田 元さん
(大谷一)

愛する家族へ

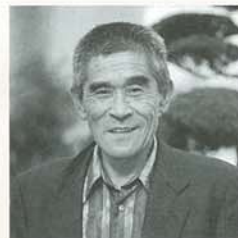
小学校5年生から始めた剣道を通して、全国大会や全国各地に行き色々な経験と人とのつながりを味わったことで教師の道を歩んだ私。

指導することの難しさに幾度となく壁に当たり思い悩んだけれども、その苦悩を乗り越えることによって得られる何かが自分自身の宝になっていったので、ずっと続けて来られたのだと思います。

でも、4月より県庁勤務になり、教員から事務職に変わり、剣道の指導者から離れ、想像もしていなかった寂しさを感じました。

けれども、そのお陰で、これまで私が一心不乱に剣道に打ち込むことができるように支えてきてくれた「家族」の陰の偉大な力に気付くことができました。

今年の目標は、これまでの感謝の気持ちを忘れないことと、今度は私が家族を支えていくこと、そして、子どもとともに剣の道で同じ夢を見ることです。



いつまでも丈夫で そばにいてくれ

鈴木 誠一さん
(栄 町)

愛する妻 八重子さんへ

おまえと一緒にあって、35年目の春を迎えた。早いものだね。バスのガイドだったおまえは、いつも明るくてひまわりのようだった。いつの頃からか、俺の運転するバスに毎日かわいい花を飾ってくれ、「おはよう」の声で俺は元気づけられた。

結婚してからは毎朝欠かさず玄関まで見送り、どんなに遅くなっても「ご苦労さま」と言って迎えてくれる。何度か「寝ている」と怒ったことがあったけれど、おまえの体が心配だったからなんだ。今回150万キロ無事故走行で表彰されたのは、おまえのおかげだと本当に感謝している。

子どもたちもそれぞれ独立し、孫も6人になった。もう安心だな。定年になったら、二人でうんとうまい野菜を作ろう。そして、ゆっくり旅行にでも行こう。

うたい文句にあるように、おまえ百までわしゃ九十九まで、いつまでも丈夫でおれのそばにいてくれ。

まちの話題

① 送橋区 おっきなお茶飲み会



手づくり料理で 元気な村づくり

12月15日、送橋区（清野剛司区長・35戸）の公民館で、幼児から高齢者まで約80人が参加して「おっきなお茶飲み会」が開かれました。

これは、元気な村づくり活動の一つとして、NPO町エコミュージアム協会の協力を得て行われたものです。

7月から準備を進め、区民と協会員がいっしょになって公民館の敷地内に直系1.5m・高さ1mほどの石窯を製作。当日は、その釜を使ってピザとパンづくりに挑戦しました。約3分で焼き上

がる釜の威力にみんな驚いた様子で、「おいしいね」と言いながら焼きたてをほおばっていました。

このほか、つくたての納豆餅やあつあつの豚汁、漬物など、地元の食材を使った品々がテーブルいっぱいになられ、参加者たちは送橋自慢の味を存分に楽しみながら親睦を深めました。

② あじぴかワイン新発売



すっきり、さわやかな 口あたりに人気

町が中生種の主力品種として力を入れているりんご「あじぴか」のワインが出来上がりました。12月10日には試飲発表会が開かれ、ワイン城に清野町

長はじめ関係者ら約50人が集まり新ワインの出来栄を確かめました。

このワインは、さがえ西村山農協女性部朝日支部のみなさんが、ていねいに絞り、あじぴか特有のジューシーさを保つためプラス10度の温度で2週間発酵させ、アルコール度数9.1%の低アルコールワインに仕上げたものです。

ボトルのデザインも女性消費者を意識したつくりとなっていますが、訪れた主婦の方は「甘さもほどほどで、さっぱりとした口あたりで飲みやすく、女性向きですね」と早くもあじぴかワインファンになった様子でした。

2,300本の限定販売、1本900円で町内の酒店で販売しています。

④ 北部少年教室



新年を祝う しめ飾りづくり

新しい年は、手づくりのしめ飾りで迎えようと、北部公民館恒例のしめ飾

りづくりが12月15日、秋葉山交遊館で楽しく行われました。

当日は北部地区の親子25組が参加。白田要助さん（大谷3・85歳）の指導で、ワラのない方や飾りのつけ方、飾りのい

われなどを学びました。

参加した五十嵐修一さん・夏美さん親子（栗木沢）は「飾りもの一つひとつに意味があることを知り、大変勉強になりました。しめ飾りは玄関に飾りたいと思います」と話していました。

③ 全国町村監査委員協議会表彰

地方自治の振興発展に尽力

地方自治の振興発展に尽力された功績が讃えられ、町監査委員の遠藤理さん（舟渡）が全国町村監査委員協議会より表彰を受けました。

遠藤さんは平成7年の就任以来、町の代表監査委員として職務に精励。現在は県町村監査委員協議会理事の要職も務められています。



全国表彰を受けた遠藤さん

⑤ 青少年健全育成あいさつ標語



◆最優秀賞

わたしから ゆう気を持って こんにちは
（宮宿小3年 富樫 真実）

◆優秀賞

あいさつは みんなでかわす こころのあくしゅ
（大谷小1年 遠藤 幹士）

あいさつと 笑顔は僕の 得意技
（上郷小6年 渡辺 一輝）

「おはよう」の 声がひびくよ ぼくの町
（西五百川小3年 長岡 真也）

あいさつで 心を結ぶ きみとぼく
（朝日中2年 成原 毅敏）

おはようと 掛ける言葉が 子をまもる
（西船渡 宮本千代子）

あいさつ運動で進めよう 明るく町づくり

青少年の健全育成を目的に「あいさつ標語コンクール」が行われ、応募総数333点の中から21点の入賞作品が選考されました。目に見える具体的な活動として、町や青少年町民会議、町校長会などが主催し行われたもので、12月1日に表彰式が行われました。

みごと最優秀賞に輝いたのは、宮宿小学校3年富樫真実さん（大町）の作

品「わたしから ゆう気をもって こんにちは」。表彰式で代表あいさつにたった真実さんは「あいさつは、自分だけでなく相手の気持ちをもうれしくさせます」と、自らの勇気ある実践とともに、あいさつの大切さをアピール。素直で愛らしい言葉に、会場は共感の渦に包まれました。

入賞した作品は、お知らせ板の余白や各種会議時の資料の中に、あるいは短冊などにして紹介し、あいさつ運動を啓発していくことにしています。

◆入選

熊谷 基（大谷小4年） 荒木美穂（大谷小5年）
清野聡志（送橋小5年） 齊藤遙可（西五百川小6年）
富樫龍優（宮宿小3年） 渡辺里奈（宮宿小6年）
鈴木美穂（宮宿小6年） 菅井奈々恵（和合小2年）
若月未来（和合小3年） 菅井 舞（和合小4年）

◆佳作

堀明日美（大谷小6年） 渡辺俊子（送橋小6年）
安藤菜望（宮宿小6年） 遠藤奈美（大谷小2年）
安藤まり子（杉山）

先月号の「くらしの知恵袋」で、新保幸子さん（緑町）のお名前を誤って掲載しました。
また「こせきのまど」で、山川尚子さん（明鏡荘）のお名前を誤って掲載しました。
おわびして訂正いたします。

おわびと訂正

わたしの作品



「先人のすべれた技で建てられたお堂。こんなにすばらしい建物が町内にもあるんだなと感動しながら描きました」と語る浅井さん。茅葺き屋根のやわらかな立体感と、木もれ日を表現するのにとても苦労したそうで、完成まで何度も現場に足を運んだと言います。「自分の感動を絵に表し、見る人にも伝えたいと思っていますが、なかなか難しいですね」と浅井さんはニッコリ笑って話してくれました。



「水口十一面観音堂」

浅井 周作さん（元町）

浅井さんの作品展が1月21日(火)から2月23日(日)まで創遊館ギャラリーで開催されますので、ぜひご覧ください。

あけまして
おめでとう
ございます

特別企画「愛する人へおくる一通の手紙」をご覧になっていかがでしたでしょうか。

この、先の見えない時代、より家族の絆が大事だと言われています。愛する家族がいる幸せがそれぞれの手紙から伝わってきたのではないのでしょうか。私も十年以上の一人暮らしを経験しました。結婚後、仕事から帰ってくると明かりのついている部屋の暖かき、待っている人がいる心強さに家族の幸せというものを感じました。

今年の広報でも様々な特集が生まれ、私自身も町の動きや課題を知ることができました。また「みんなのひろば」の紙面や取材を通して、皆さんの一生懸命さにふれ、自分も頑張らなくては、と良い刺激を受けました。今年も町民の皆さんにとって、より身近で愛される広報をめざし、広報委員一同頑張ります。

朝日町広報委員会

委員長 志藤 靖則

委員一同



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。